

もっと良い未来 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan
社民党支持
内田たいとの日々の活動
Instagram QRコード
ご意見・ご要望・ご質問は
ウッチーの電話が
090-3906-7893

「私も応援します！」
内田さんは島民の皆さんと共に歩み、共に創る小豆島の希望です！

歩みたい！ともに！

小豆島の好きなところを教えてください！
場所や文化、空気感など、皆さまが心に抱く島の魅力を大切に分かり合い、それを強みとして活かしていきます。島の課題や困難も、その魅力を原動力に変えて、皆さまと共に解決していきましょう！

プロフィール

【略歴・活動・趣味】
・1976年：千葉県柏市生まれ、牡羊座、O型。
・1999年：大東文化大学文学部教育学科卒業
・職歴：民間企業での営業13年
・2012年：家族で小豆島へ移住
・2020年：児童福祉サービス「アースハーモニー」(児童指導員、現在は児童発達支援管理責任者)

【地域活動】
・SONIO BOLAMIGO FC コーチ (サッカー歴40年)
・小豆島自然保育glf グラフィ (焚火・野外活動)
・シェアのわ小豆島、みらいの学校会議 (料理・読書・映画)
・小豆島町消防団 西村分団 団員
・小豆島圏ネットワーク会議 (福祉)



内田
うちた
たいと

1. あなたとともに！安心して暮らせるまちづくりを目指します。
2. 子供から高齢者まで幅広い年代が住みよいまちづくりを目指します。
3. 地場産業活性化のために みなさまとともに考えます。
4. 小豆島の自然豊かな魅力を活かした観光事業を推進します。

みなさまの声を
町政に！

【プロフィール】
1961年11月 内海町(現小豆島町) 福田 生まれ
1980年 3月 小豆島高等学校 卒業
1986年 3月 岡山大学工学部 卒業
1986年 4月 島野工業株式会社(現(株)シマノ) 入社
1990年 4月 帰島
2022年 4月 小豆島町議会議員
河井石材(自営業)
小豆島町卓球協会 会長



小豆島町福田
かわい
たかし
河井おさむ
(64)



まつだともみ
松田知巳

活力ある安心・安全な
小豆島町を目指します

- ① 地域経済の活性化
醤油・佃煮等の地場産業を大切にしながら、地域経済の活性化を図り、若い世代が住み続けられる地域づくりを目指します。
 - ② 地域を支える人材育成
地域づくりに積極的に取り組む人材育成に努めます。
 - ③ 安心・安全なまちづくり
高齢者が住み慣れた地域で暮らせる環境づくりと、防災体制の強化を進めます。
 - ④ 小学校跡地等の活用
小学校跡地をはじめとする遊休公共用地の早期の有効利用を促進します。
- 行政勤務の経験を活かし、あらゆる課題に迅速に取り組めます。



はだ
羽田みつる

私は、このたび地元のご推薦をいただき、立候補いたしました。地域のために、何事にも誠実に対応、実行する決意です。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

私の抱負

- みなさんが安心して生活できる町づくり
災害対策、医療の確保、高齢者組織の充実、障がい者の支援雇用推進に取り組みます。
- 商工業・農業の発展、振興による町づくり
商工業の振興に注力し、持続可能な魅力ある農業を支援するとともに、漁業を含めた地場産業の連携の強化に取り組めます。
- 子育てに安心な環境、教育環境の整備
安心して子育てできる環境の整備に取り組み、学校教育の充実整備に取り組みます。

産業を育て、暮らしを守る

醤油やオリーブの産業に携わるひとりとして、現場の厳しさや可能性の両方を体感してきました。だから、地場産業の振興こそが、この町の未来を支える原動力だと確信しています。



塩田洋介

産業の力で活力を生み出す

お年寄りが安心して暮らせる町で次世代を担う子どもたちを見守り産業のさらなる発展へ！

2期目は、この4年で積み重ねた経験を「結果」に変えます。今、この町に、本当に必要なことは何か見極め、優先順位を明確にし、理想を具体的な形にまいります。

必要なのは
産業からの
“循環”

【プロフィール】1949年 小豆島町(旧:内海町)生まれ/香川県立小豆島高等学校を経て東京農業大学農学部醸造学科を卒業/関西・関東で会社員として勤務/1997年、ヤマサン醤油株式会社を継ぐ

いのち・暮らしを守る町政を

唯一の女性

あなたの一票は
毎議会、暮らし・福祉をとりあげ
すぐに行動する
なべたに真由美

力をあわせて実現しました

- 高校卒業まで医療費が無償に
- 給食費が保育所から中学卒業まで無償に
- 保育所保育料が無償に など



願い実現にとことん頑張ります

- 公共交通の島民割引の実施
- 修学旅行費など教育費は無料に
- 加齢性難聴者への補聴器購入補助

大国の無法な戦争で、日本と世界の平和が脅かされています。平和の島から反戦・平和の声をあげます。住民が主人公のまちづくりをめざし、暮らし・福祉・子育て支援の充実を求めて三十五年間、みなさんと力をあわせてがんばってきました。庶民いじめの負担増は許せません。税金の使い方を町民目線であらため、子育てから老後まで安心して暮らせる小豆島町をいっしょにつくりましょう。みなさんのお力で必ず議事に押し上げてください。心よりお願いいたします。



日本共産党
なべたに
まゆみ
真由美

守りたい日常が、ここにある。

20年後の小豆島。その姿を想像したとき、私はふと怖くなる時があります。

ここ数年で2つの航路が途絶え、来年には内海地区の小学校は1校へと統合。人口減少と担い手不足により、必要とされているにもかかわらず、続けることができないお店やサービスも年々増えています。

大好きな故郷の「当たり前」の日常が、当たり前でなくなり始めている。そんな現実と強い危機感を抱き、私は立候補を決意しました。

これから迎える20年間は、これまでよりも厳しく険しい道のりに違いありません。それでも私は、今ならまだできることがあると信じています。後で後悔しないために、今、手を尽くし切る必要があります。

当たり前の日常を守り、希望を持ち続けられる島のために。私は誰よりも執念をもって取り組むことをお約束します。

どうか皆様のお力を、私にお貸しください。

略歴
・小豆島町西村出身 ・小豆島高校卒業 ・専門学校卒業(大阪)
・上新電機株式会社勤務(12年間) ・土庄町総合会館勤務(5年間) →退職



たかはし
高橋ひろあき
41歳

- 一、住民福祉の充実
- 一、健全な町財政の確立
- 一、若者が住みたくなくなる少子化対策の推進
- 一、自然を生かした地域開発
- 一、小豆島の未来を見据えた政策実行

私の決意

私は、このたび地元並びに町内有志のご推薦をいただき立候補いたしました。今、様々な要因で、社会情勢が大きく変わろうとしている中、小豆島・小豆島町の将来を見極める大事なときであり、私は、半世紀を見据えた施策が必要だと考えています。この大切な時に広い視野と行動力での課題に全力を挙げて取りくみます。また「安全でくらしやすい・住みたい町づくり」をさらに目指し誠心誠意努力する決意であります。何卒、皆様方の大いなる期待にこたえられる様、「安井信之」に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



やすいのぶゆき
安井信之
六十五歳

小豆島が大好きです！

医療・介護・子育て環境・防減災の整った街づくり！

皆様の声を聞かせて下さい。

貴重なご意見・ご要望を町政へ！



かわい
川井しげる

住民の声を行政に届けることを大切に、2期8年、安田地区をはじめ住民の皆様にお支えをいただきながら活動してまいりました。

また、活動の中では多くの鼓舞激励もいただきました。まずは心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

なかなか大きな成果を上げることはできていませんが、それでも1つ1つ、わたしができる範囲で、全力で行動してきました。住民のみなさまの日々の暮らしが少しずつ良くなる町をめざして、これからも現場で動き続けます。

着実に、一歩ずつ。全速前進。



三木たかし

小豆島を前に進める!

1 行政の意識改革

- ・前例主義から成果主義へ、事業を検証し、公開します
- ・町の予算を「町民向けにわかりやすく解説」します
- ・現場の職員の声やアイデアを活かします

2 島民の意識改革

- ・「行政任せ」から、共に進める「共創」へ
- ・女性・若者・移住者のチャレンジ支援
- ・小規模事業者の新規チャレンジ支援

3 前へ進める具体施策

- ・小豆島のブランド戦略の再構築
- ・観光の通年型モデルの確立
- ・デジタル活用による行政効率化
- ・外部人材・企業との連携強化
- ・地域おこし協力隊の行政への取り込み強化

【プロフィール】

東京都渋谷区生まれ、上智大学文学部史学科卒。民間企業で広告宣伝や情報誌の編集長を経て、40代で独立。建築士免許を独学で取得し、世田谷区で設計事務所を開設。2021年11月に小豆島町西村に移住。ねこ2匹と暮らす。

日々の活動など、詳しくはInstagramで! 



完全無所属
伊佐 明夫
いさ あきお



谷 やすお

人口1万人時代に向けて

新しい産業の育成

国際認証を生かした新しい観光

産業の確立

内海湾を日本のモノコに

港湾地域の活性化

南海トラフ地震を想定したイン

フラ整備

小学校統合を見据えた教育環

境づくり

限界集落に向かう地域への対応

詳しくはチラシで

持続可能性のある町へ あなたと一緒に

◎福祉は行政の1丁目1番地

- ・高齢者、障害者への細やかな施策を
- ・介護の待機者を限りなくゼロへ

◎買物難民対策を

- ・移動販売の拡充で交通弱者の生活を支援

◎災害に強いまちづくり

- ・長期の被災に備えて非常用電源の確保と災害協力井戸の確保を

◎農業農村を守る

- ・大地とともに豊かな未来を



大下 あつし

皆様の声を行政に届け
安心して住み続けられる町を
目指します。

未来の子どもたちに誇れる小豆島にするため100年計画で考えます
銀行での経験と中小企業診断士の知識を生かして、小豆島の課題に取り組みます

具体的には

- ◎適切な公共投資
- ◎地場産業の持続・成長
- ◎子供たちが挑戦できる風土作り
- ◎環境、自然、生き物の保護



たなか
田中 ひでり

これからの小豆島町のことを共に考え、共に創る

皆様の声に真摯に耳を傾け、小豆島町及び小豆島の発展に尽力いたします。

- 子育て・教育の環境整備
- ・幼児教育と子育てサービスの充実
- ・子育て費用の負担の軽減
- お年寄りにやさしい街づくり
- ・公共交通及び島内交通の充実
- 産業界への支援の充実
- ・産業界への支援策拡充
- 観光への新たな取組と施設整備
- 空き家・空き建物の対策
- ・危険な空き家・建物の撤去
- ・放置された土地利用の推進
- 地域住民の改善要望等の対応
- ・ひとつの例として
- ゴミ集積場の増設を行う事で
- 不衛生・道路横断の危険性の解消

皆様の声をお聞きし、着実に前に押し進めます。



なかじま
中島 しゅんろく

着実な取り組みと成果で、『小豆島を、強く豊かに。』

- ・子供たちが夢と希望を持てる町に取り組みます。
- ・安心して老後の生活が送れる町に取り組みます。
- ・女性が生き活きと働ける町に取り組みます。
- ・持続可能な農林漁業・商業観光・地場産業の振興で元気な町に!
- ・美しい自然環境を守り、自然災害に強い町に取り組みます。
- ・快適な教育環境と郷土愛を育む、教育の充実に取り組みます。
- ・島全体の持続可能な観光等、強く豊かな町づくり!



高尾
とよひろ

投票日 4月12日

みんな忘れずに投票しましょう!